

えもんみっけ!

～市民レポーターのページ～

市民レポーターの皆さんが、市内のさまざまな場所に出かけて、市民ならではの視点から小牧の魅力や身近な話題について取材した様子を、毎月15日号で紹介していくコーナーです!

REPORT 200

「市民活動をしてみませんか」と言われると、よく分からないけれど「地域の中で何かしてみたい」、「誰かのために動いてみたい」という気持ちをもって人は意外といはるはず。そんな人たちが応援してくれる「ワクティブこまき」に行ってきました。

今、自分にできること、誰かのためにしてみませんか



明るくて、わくわくしてきます



ワクティブこまきは、小牧市が設置し、運営は特定非営利活動法人こまき市民活動ネットワークが指定管理を受け、運営しています。



まちのかり場での1コマ

「ワクティブこまき」では、子育て、防災、多文化共生、障がい福祉、環境、まちづくりなど地域の課題に取り組む市民活動を応援しますが、ボランティアや市民活動に縁のなかった人には少し分かりづらい話です。しかし、例えば「小牧で生活している子どもの学習支援をしてみたい」とか、「まちのゴミをなくしたい」とか「小牧でボランティア活動をしてみたい」、「自分

はギターが弾けます。ぜひ、福祉施設などで演奏して、利用者の人たちに寄り添い、喜びにつなげたい」なんて思っている人がいるなら、その思いを応援してくれるのが、「ワクティブこまき」なのです。ボランティアをしてみたいという人には、ボランティアアワード登録から。ボランティア団体から助っ人依頼の依

頼を受けた「ワクティブこまき」から「こんなボランティア活動がありますよ」と連絡が入ります。仲間が3人以上いれば、市民活動団体として登録ができ、「こんなことがやりたい」「あんなことがしたい」という自分たちの思いの相談にものってくれます。自分のやりたいことが決まっている場合には、同じ活動をしている団体を紹介してくれます。

地域に踏み込む第一歩

「ワクティブこまき」に登録すると、同じ思いを持つ人たちとつながるイベント（交流会・発表会）があったり、自分の思いを形にする場（まちのかり場）があったりと、催しや講座、講習会などを通じて、いろいろ見識や知識が広がります。

他にも、ワクティブこまき内にある多目的室が無料で借りられ、自分たちの活動の打合せ場として使える、自分たちの情報を発信することができると、さまざまな支援

を受けることも可能です。事務局長の関さんは「新しいことをやるというより、今できることを活かす」という気持ちで、難しく考えずに、興味のあることを相談しに来てほしい」と話します。現在、「ワクティブこまき」は250を超える市民活動団体とつながっています。興味のある人は、ラピオ2階「ワクティブこまき」に立ち寄ってみてください。

編集後記



みくる

市民活動って、もっと難しいと思っていたけれど、気持ちや思いのある人たちの集まりなんだよね。ちょっと一歩踏み込んでみたら、世界が変わるじゃないけれど、自分も、小牧も変わるかも。

今回の取材先

ワクティブこまき

住所：小牧3-5-10 ラピオ2階
電話：48-65555
営業時間：10:00～21:00
※日曜日は17:30～
※その日が祝日の場合は開館、水曜日が休館

愛犬と一緒にストレス解消！

愛犬をふかふかの芝生の上で思いっきり走らせてあげたい、そんな飼い主の気持ちに答えるドッグラン「わんわん広場」がオープン。舗装されていない足にやさしいグラウンドに大喜び間違いない！



愛犬のための工夫がいっぱい！



写真右上は、大広場。同左下は小型犬専用の小広場。大広場にはテーブル、パラソルなどもあります。1頭500円（9月末までは300円）で、予約をすれば2時間3,000円（大広場）、2,000円（小広場）を貸切にすることも可能です。池之内交差点を温水プールの方に向かうと、道路沿いにのぼり旗が出ています。車通りも多く、ワンちゃんのなき声も、気にならないから、思い切り遊べそう！

緑も豊かに残る小牧市とは言え、愛犬を誰でも自由に走らせてあげられる場所はそうありません。縁あって入手した土地をドッグランにしようと思いついたのも、自分の愛犬を自由に走らせたい、と思ったのがきっかけでした。それまで利用していたドッグラン施設は遠かつ

責任者の若杉孝希さん。自他ともに認める大好きです。



たり、利用可能な日や時間も限られていたり。それならば自分で安心して愛犬を走らせてあげられる場所を作ろうと考えました。

わんわん広場

5月14日にオープンした「わんわん広場」は1,200㎡の広さの大広場、1,000㎡の小広場があります。大型犬を怖がる小型犬のために、小広場は小型犬専用になっています。フェンスの内側には目隠しにもなる樹木を配置し、広場内には飼い主が休めるパラソル付きのテーブルなどもあり、飲食も可能です。

おもちゃの持ち込みも自由で、整備された水場で水遊びも楽しめます。周りに高い建物もないので風通しもよく、飼い主と子どももリラックスできる場所です。

安心して利用できるようにグラウンド内の掃除にも気を使います。除草剤も一切使わず、手間暇かけて整備をしています。

どんなときも

飼い主の立場で自分があったらうれしいと思うものを増やして、もっと人も犬も楽しめる場所にする予定なのだそう。今はまだ昼のみの営業ですが、ゆくゆくはナイター営業も検討するつもりです。

また災害時には愛犬と一緒に避難できる場所として活用することも考えています。

通常の避難所の避難対象は人のみで、飼い犬の受け入れは難しく、たと



わんわん広場



今回の取材先

住所：林野原3
電話：090-6073-5476
営業時間：10:00～16:00
定休日：水曜日
駐車場：20台



編集後記



ヤンメイ

夏の間は暑いので熱中症対策が必要。スタッフがいたりときはワンちゃんに飲料水を買えるそう。至れり尽くせりの優しさですね。

え、連れて避難できたとしても周囲に気を使い、互いにストレスを感じる事があるかもしれません。しかし、愛犬ありきで作られたこの場所なら、同じように愛犬を連れた家族同士で助け合うことも可能はずです。どんなときも、飼い主と愛犬が笑顔で過ごせる場所が「わんわん広場」なのです。